

音楽

レクチャーコンサート ヴァイオリンとオルガン
の対話 Vol.1 ～J.S.バッハの世界①～

本学への申込み
東京純心大学 企画調整課
042-692-0326

申込み期間
4月15日(金)～
5月16日(月)

講師	米沢(鎬木)陽子(看護学科 客員教授) 天日 倫代(元非常勤講師)
開講日時	6月18日(土) 14:00～16:00
会場	東京純心大学(江角記念講堂)
内容	教会カンタータやオルガン作品など数々の教会音楽を生み出した J.S.バッハは、一方で多くの優れた室内楽作品も残しています。今回から始まるこのシリーズでは『ヴァイオリンとオブリガートチェンバロのためのソナタ』(BWV1014-1019、全6曲)を取り上げ、ヴァイオリンとオルガンの二重奏という形でお届けいたします。(オルガンがチェンバロのパートを担当いたします)
対象	小学生以上
定員	先着 80名 (小学生は保護者同伴) 定員になり次第締め切ります。 ★新型コロナウイルスの感染状況により、定員を変更または中止する場合があります。
受講料	小学生無料 中学生・高校生 500円 18才以上 1,000円
持ち物	筆記用具
備考	なるべく公共交通機関をご利用ください。 お車でお越しの場合は、お申込み時にお申し出ください。

米沢(鎬木)陽子(オルガン):東京藝術大学大学院博士後期課程(バロックオルガン専攻)修了、博士号取得。カトリック山手教会、目黒教会オルガニスト。日本オルガン研究会会長、日本オルガニスト協会、日本音楽学会、キリスト教礼拝音楽学会会員。立教大学キリスト教学研究科特任教授、東京純心大学客員教授。



天日 倫代(ヴァイオリン): 東京藝術大学卒業。全日本学生音楽コンクール西部大会第1位。東京藝術大学在学中、Asian Youth Music Campにてコンサートミストレスを務める。卒業と同時に東京ゾリステンへ入団。アメリカ・ワシントン郊外、横浜でリサイタルを開く。現在はフリーで、オーケストラ、室内合奏団にてソロを演奏するなど、独奏、室内楽を中心に演奏活動を行っている。元東京純心女子短期大学(現・東京純心大学)音楽科非常勤講師。ヴァイオリンを石井志都子、故岩崎洋三、故田中千香子の各氏に師事。



講師からみなさまへ

バッハのヴァイオリンソナタ全6曲(BWV1014-1019)を3年計画で1回2曲ずつ取り上げ、楽曲解説、バッハにまつわるさまざまなエピソード、演奏者による対談などを織り込みながら、バッハの室内楽の世界へのご案内いたします。2つの楽器が織りなす調べ、そして2人の奏者の対話をお楽しみください。